

12. 文化・芸術

	タイトル	意見等
1	県立近代美術館の絵画贋作詐欺事案	メディアでも報道の贋作絵画「自転車乗り」の展示を見学しました。併せて、学芸員の説明を拝聴しました。ガラスケース中の贋作絵画はそれは立派な額装に仕込まれており、その道の専門家が騙されても仕方がない、と言わんばかりの設えで、展示をしておりました。が、大いに違和感を感じた次第です。百歩譲って、詐欺事件の証拠品ですから、オリジナルのまま展示した、というのなら理解しますが???展示の場所は1階のエントランスホール、展示ケースの位置も片隅、手洗いへの通路手前に据えられ、残念ながら、近代美術館は事の重大性の認識がうすい、乃至、認識ないのか、との感想をもちました。学芸員の説明にありまして、前述の認識希薄の延長線のように感じました。説明を批判する意図はありません。が、この詐欺事件の説明にあつては、通常の展示作品の解説とは全く違うものだろう、と考えるところです。なぜなら、贋作を一つつかまされたレベルの美術館の展示作品は、収蔵品もすべてニセモノばかり、贋作のコレクション美術館ではないかと思われるかも、危機的状況、と心配すべきでしょう。総じて、事の重大性から、美術館、学芸員の責任とかは棚上げし、問題解決に向けて、大局的に徳島県庁を挙げて、事件の経緯、他者の知見を含め、法務を入れた総合的な検証をすべき、と考えます。ついては、第三者委員会の立ち上げが必要な案件と考えます。